

知ってますか

国連防災世界
会議

1月18～22日、神戸で開催。災害の被害や損失を削減するための行動枠組みなどを採択した。スマトラ沖地震と大津波を受けて、インド洋での津波早期警報システムを国連が中心になり構築することも合意。採択文書が災害の多発と地球温暖化の関連に言及することに、米国の反対する一幕もあったそうだ。

知ってますか

東京都管理職
試験訴訟

在日韓国人の東京都職員が、管理職試験の受験を拒否されたのは憲法違反と訴えていた裁判。最高裁は1月26日「管理職への外国人の就任は日本の法体系が想定していない。合理的理由による区別は違憲でない」と原告敗訴の判決を出した。自治体では外国人の採用や管理職登用が進み、国際化に逆行した判決と指摘されている。

情報BOX

勤労者通信大学 2005年受講者募集

〈開校〉 2005年2月
〈受講期間〉
2005年2月～2006年2月末
〈基本学習期間〉
2005年2月～12月
〈開校コース〉
①「基礎コース」
②「基礎チューター養成コース」
③「労働組合コース」
〈受講料〉
●「基礎コース」または「労働組合コース」の新入学は20000円、再入学(1度でも受講したことがある)17000円 ●「基礎チューター養成コース」15000円

申し込み・お問い合わせ
関西勤労協 ☎06-6943-1451
又は、大阪自治労連まで

関西芸術座公演

「戦争童話集」作：野坂昭如

日時／2005年3月2日(水)
～3月6日(日)

〈14:00～ 3/4(金)3/5(土)
3/6(日)
19:00～ 3/2(水)3/3(木)
3/4(金)3/5(土)〉

場所／関芸スタジオ

料金／前売・当日共3000円
中・高生・70歳以上2500円

お問い合わせ
関西芸術座 ☎06-6661-2112

漫画で考える「憲法改正」

『9条の消えた朝』



原案・編集・発行
連合通信社
画 小桜広太
解説 小沢隆一教授
(静岡大学)

親しみやすいストーリーで改憲の狙いや危険性が理解できるマンガパンフレット

B5判 40頁 定価300円

ご注文・お問い合わせ
連合通信社 ☎03-3454-1105

積極的にかけたボランティアのみなさん



大阪府職労の 新潟中越地震 ボランティア隊 2004・12・4～5

深刻な被害の地で 被災者の生活再建の苦労を まのあたりに

現地ルポ

山積みされた被災住民の要望

移動の車から見える風景はひどいところ、比較的被害が少ないところと同じ地区でも違いが激しいのはびっくりしました。小千谷市からは信濃川をはさんで対岸に、あの岩盤が崩壊して、道を破壊した現場が見え、規模の大きさに改めて地震の怖さを感じました。そして、地震の大きさに割に死傷者の数は少なかったといえるのだと思いました。

被害の大きさに改めて 恐怖を感じる

新潟中越地震でもかなり被害がひどく、ライフラインもやっと復旧できる見通しが立ってきた川口町に入りました。がけ崩れによる道路陥没や山崩れで家が押しつぶされ、多くの家屋の屋根がブルーシートで覆われている光景を目の当たりにし、地震被害の悲惨さをいっそう実感しました。行政側は一方的に家屋調査を終了させ、この日から仮設住宅へ入居がスタートしていますが、まだまだ被災住民の切実な要望は山積しており、生活再建には程遠いというのが実態でした。

行政に対する 要望はいっぱい

府職労(大阪府職員労働組合)は12月4～5日の2日間、新潟中越地震による被災者への救援ボランティア隊として総勢41名が参加し、新潟中越地震全国救援・日本共産党センターにおいて、救援物資の配布や要望聞き取りなどに参加しました。

集落ごとに 一軒一軒をまわる

川口町センターで責任者の広川さんから説明を受け、3班に分かれて救援物資や早朝に届いたリンゴやお米を車に積み込み、各車ごとに移動しましたが道路を寸断された所が多く、国道17号線も大渋滞でなかなか動かず、やっとの思いで集落に到着。ここでは、集落ごとに一軒一軒を回って、義援金や家屋修理等の救援制度を知らせながら、被災住民の切実な声や悩みをよく聞いて話相手になり、必要な救援物資を届けること。要望に応じて荷物運びや簡単な修理なども臨機応変に取り組みました。家屋修理の札が貼ってある家でもガレージで生活をされたり、仮設住宅の入居がはじまり引越準備の家も何軒かありました。長年にわたり大家族で生活していた人が狭い2部屋で分散して生活するのは本当に酷なこととやりきれないと思います。

地震をのりこえ 生きていく力を実感

小千谷では「片付け隊」「物資配達隊改め、御用聞き取り隊」の2班に分かれて行動しました。物

紙面リニューアル第1弾

「憲法9条守ろう」と 各地・各分野で「九条の会」



「憂国心」の名のもとに、かつての私のような軍国少年を二度と育ててはならない——岸和田で「九条の会」をつくろう、との呼びかけに、地域から約500人が賛同と期待の声を寄せている。

「九条の会」は昨年6月、作家の井上ひさし氏や大江健三郎氏ら著名人9人が結成。「9条の問題に関してわれわれは危機感があり、黙って見ていることができない」「9条を護ろうという人たちの運動がいろいろとあり、お互いの横の連絡、ネットワークを作りたい。そのためにできることをしたい」と全国にアピールを発表した。府下でも各地域単位や宗教者、学生らが独自に「九条の会」を結成し、9条擁護を語り合い、

歌会や川柳の会などのイベントも展開している。最初に掲げた声のように、「右翼的」と思われていた人たちの参加も多いという。

本紙は紙面リニューアル(1面写真の構成など)にあたり、9条を守るコーナーを新設。読者のみなさんからもぜひ、意見や歌、動静などお寄せいただき、もりあげていきたい。

ところで、3月20日はイラク戦争開戦2周年。全世界で平和への取り組みが計画されようとしている。大阪でも大阪憲法会議などが大阪城公園での集会を呼びかけ、賛同を募っている。

「九条の会」のオフィシャルサイトは<http://www.9-jo.jp/>ぜひ一度アクセスを。

住民との対話で感じたのは、地震の被害をのりこえて、希望をもって明るく生きていく市民一人ひとりの力でした。

住民の要望など聞きとるボランティアのみなさん

